

(別記)

2020年度五戸町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が約43%で、転換作物では土地利用型作物の麦、大豆、そばのほか、高収益作物のニンニク、ナガイモ等の作付が広く行われており、複合経営を中心とした多様な農業生産が展開されている。

農家の高齢化や後継者不足等により不作付地が増加するなか、担い手や集落営農組織等の育成、農地集積や規模拡大による土地利用型農業の推進と並び中山間地域における小規模農業の維持等が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

当地域の約1,867ha（不作付地を含む）の水田について、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大と収量・品質の向上を目指す。

(1) 主食用米

主食用米の需要減少が見込まれる中、転換作物への取組拡大を図るとともに、関係機関と連携した営農指導等により、収量と品質の向上を目指す。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減少が見込まれるなか、県設定の産地交付金を活用し、多収品種の導入と生産性向上の取組を推進し、飼料自給率の向上を目指す。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

主食用米の需要減少が見込まれるなか、県設定の産地交付金を活用し、生産性向上の取組を推進し、取組の維持・拡大を目指す。

エ WCS用稲

WCS用稲の生産維持を図るため、地元畜産農家や関係機関と連携しながら生産の掘り起こしに努め、飼料自給率の向上を目指す。

オ 加工用米

主食用米の需要減少が見込まれるなか、栽培管理技術向上に努めながら、生産の維持・拡大を目指す。

カ 備蓄米

需要に応じた米生産のため、農業者への周知を行い、取組の維持・拡大を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦

長雨の被害による減収及び品質低下が懸念されることから、天候に対応した栽培管理や適期刈取、排水対策等の栽培管理技術向上に努めながら、収量と品質の向上を目指す。

イ 大豆

長雨の被害による減収及び品質低下が懸念されることから、地域設定の産地交付金を活用して、天候に対応した栽培管理や適期刈取、収量の向上栽培管理技術向上に努め、収量と品質の向上を目指す。

ウ 飼料作物

地域の畜産農家で需要があることから、排水対策等の栽培管理技術向上に努め、収量及び品質確保を図り、飼料自給率の向上を目指す。

(4) そば、なたね

ア そば

長雨の被害による減収及び品質低下が懸念されることから、県設定の産地交付金を活用して、生産性の向上に努め、収量と品質の向上を目指す。

イ なたね

取組なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ア 野菜等

地域設定の産地交付金を活用し、野菜を中心とした高収益作物生産の維持・拡大を目指す。

(6) 畑地化の推進

取組なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	799.0	777.9	777.9
飼料用米	23.5	21.0	24.1
米粉用米	—	—	—
新市場開拓用米	5.3	5.2	7.0
WCS用稲	3.2	7.3	7.3
加工用米	8.9	6.6	8.9
備蓄用米	3.0	3.5	4.0
麦	0.3	0.5	0.5
大豆	13.5	13.1	16.5
飼料作物	63.3	58.6	65.0
そば	4.1	5.1	5.1
なたね	—	—	—
その他地域振興作物	85.2	87.4	89.9
野菜			
・ニンニク	46.8	45.6	46.8
・ネギ	3.7	3.8	3.8
・ピーマン	1.8	1.8	1.8
・イチゴ	1.0	0.9	1.0
・ソラマメ	1.1	0.8	1.1
・キュウリ	0.8	0.5	0.8
・マルイモ	2.8	2.7	2.8
・ナガイモ	12.0	12.3	12.4
・ゴボウ	2.4	5.8	5.8
・その他野菜	9.5	10.2	10.3
花き	2.0	1.9	2.0
雑穀	1.3	1.2	1.3
その他			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	野菜等	振興作物助成	振興作物作付面積A	(2019年度)	72.4ha	(2020年度)	74.2ha
			振興作物作付面積B	(2019年度)	12.8ha	(2020年度)	13.3ha
2	大豆	収量向上取組助成	取組面積	(2019年度)	4.65ha	(2020年度)	13.1ha
			収量	(2019年度)	73kg/10a	(2020年度)	112kg/10a